

第3回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 平成29年6月21日(水曜日)
午前10時25分から午後12時25分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎4階会議室
- ・ 出席委員 小泉克行教育長、藤本政一教育長職務代理者、
中村順一郎委員、天野ますか委員、野尻正人委員、
庄司有紀委員
- ・ 出席職員 井上教育次長、小俣学校教育課長、小林社会教育課長
- ・ 傍聴人 な し

〔会 議〕

1 開会

【教育長開会宣言】

2 会議録の承認

職員が、平成29年度第2回定例会会議録を朗読し承認される。

3 教育委員会報告

教育長から、平成29年5月24日から平成29年6月21日までの教育委員会活動が報告された。

4 議 事

議案第5号 就学指定学校変更・区域外就学について

(非公開)

〔説明〕 土橋こどもの学び支援担当リーダー

【原案どおり決定】

議案第8号 平成28年度大月市教育委員会の教育行政点検・評価について

〔説明〕 小俣学校教育課長・小林社会教育課長

小俣学校教育課長

平成28年度大月市教育委員会の教育行政点検・評価シートについてご意見をいただきたいと思います。学校教育課と社会教育課でもう一度見直しをしまして、修正箇所、追記の箇所を朱書きで示しました。再度審議をお願いします。

中村委員

評価なので、私たちが考えていることと、評価する相手がどう思っているかは関係ないわけです。もし昨年より悪いのであれば、良い評価を与えるのは反対と考えています。読書活動の推進等も図書館は色々なことを行っているので、Aで良いと言いましたが、違う意見があれば言ってもらいたいです。

天野委員

図書館は、仁科館長が本当に努力されて、自分の出来る範囲の中で、各方面に働きかけて色々な事業をしていることから、中村委員がAで良いのではとのことですが、図書館の独自事業について、仁科館長が事業をしているからと、職員の主体意識がどうなのかと思うことがあります。

また、今までは活動報告や事業計画にボランティアが行っていたお話会が記載されて、参加人数等が書いてありましたが一切なくなっていました。図書館は、地域住民と創っていく図書館が成功していきますので、そのことがとても残念だと思います。今まで行っていたことが消えています。ボランティアはボランティアで勝手にするのではなく共同でする事業だと思います。

小泉教育長

中村委員や、天野委員が言ったように評価に関わって、一つひとつの事業や仕事に理想があると思います。その理想に対して個人の意見を聞き合うことはとても勉強になると思います。ですので、自分の持っていた観点で示してくださったことは、とてもありがたいことです。それぞれの評価を決めるときに、理想や正直な気持ちで評価した方が良いと思います。でも、Bも大変良い評価です。

中村委員

Bは、80%達成なので良い評価です。

小泉教育長

そういう意味で言えば、文化活動、読書活動の推進の項目では、昨年度やまびこ支援学校と合同での実施は出来なかったのですが、方向性として検討して今年度は行えることになったため、評価がBからAになっていましたが、ここの項目の評価を戻すということによろしいでしょうか。

先ほどの図書館の運営の充実につきましては、館長が独自の様々な取り組みをしているのは素晴らしいのですが、一方で運営の充実や、図書館機能の充実を求めている方がいるということも分かりましたので、今やっている事業については大変評

価できますが、更なる充実を求めたいので、Bのままでよろしいでしょうか。

藤本職務代理者

例えば、図書館運営の充実という項目は抽象的です。具体的には何を指しているのか、人、モノ、金、例えばそういう観点から眺めてみても、達成とか、ほぼ達成とか、どこを見て評価するのか、非常にわかりにくいです。図書館の職員が、図書館運営の充実に向けてどういう提案をし、どういう努力をしているのが基本的にあると思いますが、評価は何を基準にするのか、評価する人によって個人差が出ると思います。ですから、抽象的に評価をするのではなく、図書館運営の今年の目標は何なのか、その目標が出来たのかどうかだけで評価をしないと、議論が難しいと思います。結果を見て評価すればいいと思います。

野尻委員

文化活動、読書活動の推進の項目は評価を替えていただいて結構です。私は昨年の教育委員会の様子も知りませんし、替えるのは結構です。

質問なのですが、この評価は委員会がしたことを、私たちがチェックするのですか。

小俣学校教育課長

自己評価とさせていただきますので、事務局が自己評価して、提出したものを委員の皆様に見ていただき、再度評価をしていただきます。

野尻委員

例えば山梨の教育振興プランでは、目標を児童が図書館の本を5年間で平均70冊読めたら達成と数値目標があったので、学校でも目標をクリアするように、色々取り組みをしました。この評価は、何を基準にするのか、どれが理想なのか、道徳・文化活動、読書活動等の推進の項目で、委員会の中でやまびこ支援学校と音楽発表会を合同で実施する方向性にしたならば、それが出来なかったなのでその評価をすることも分かりましたし、何をどう評価するかは、それぞれみんな考えることが違う面もあり、話をして感心することもあるので、大変難しいです。ただ、文化活動については、この点に重点を置いてこれが出来たら評価を上げるという基準があると、大変わかりやすいと思います。

中村委員

閉校跡地利用がずっとC評価です。使いたいという人はたくさんいるので、話が進んでくれると良いのですが、なかなか難しいです。

藤本職務代理者

この項目に載っているなので、閉校跡地利用は教育委員会の関係となっておりますが、

教育委員会だけというのはどうなのでしょう。全体の施設をどう活用していくのかを、教育委員会が考えろということは、いかがなものかと思います。

井上教育次長

閉校跡地利用は、市全体で考えなければならないと思います。ただ、財産の管理が教育委員会になっているため、教育委員会のくくりになります。教育委員会としても市全体で考えてもらいたいと話をしているのですが、なかなか出来ない状況です。耐震基準を満たさない建物が残っているので、教育委員会としては壊していきたい考えがありますが、費用がかかるため、簡単にはいかないのが現実です。

小泉教育長

社会教育でも施設の整備の所が大月市はお金が無いので、ずっとC評価になっておりますが、設備が整いきれないのが現状です。その中で総合体育館のトレーニング器具の入れかえを全部した努力も認めて欲しいと思います。

閉校跡地も、旧下和田小学校に工場が出来るので、自信を持ってB評価とすればいいのではないのでしょうか。

評価に関して委員の皆様からいろんな意見が出ましたが、その意見がとても大事だと思いながら話を聞かせていただきました。報告について、全てを数値化することや、焦点化することは難しいことだと思いますが、より具体的だと説明しやすくなります。

結論としましては、赤字の修正箇所はそのまま、BからAになっている箇所はBに戻すということにしたいと思います。

【継続審議】

5 その他

(1) 学力向上フォローアップ事業の実施について

〔説明〕 小俣学校教育課長

今年のサマースクールは7月24日から8月10日まで実施します。各学校の開催日と、今回ご協力をいただく教員OBの先生方や市担の先生、大学生は別紙のとおりです。今年度はスクールバスを利用できるようにしました。教育委員の皆様も、もしご都合がございましたら参観していただきたいと思います。

【了知】

(2) 大月楽習塾、教員OBリレー講座の実施について

〔説明〕 小俣学校教育課長

初めに、大月楽習塾「大月っ子楽習サロン」は、各学校で年間を通して行う事

業であり、6月5日からスタートいたしました。こちらにも機会がありましたら、参加していただきたいと思います。

教員OBによるリレー講座は、7月4日、9月5日、11月14日の3回実施を予定しており講師の方も既に決まっています。北教研の日に北都留教育会館で午後5時40分から開始して、1コマ1時間～1時間30分を予定しています。7月4日は天野昭先生の美術関係の講座で、各学校から参加者を募っているところです。

【了知】

(3) 平成29年度山梨県学力把握調査集計結果について

(説明非公開)

〔説明〕 小俣学校教育課長

庄司委員

保護者の立場から言わせてもらいますと、試験を行っている意味は何だろうと思います。追跡調査ではなく対象学年での調査で、その結果が出たからどうなののでしょうか。先生たちの授業の見直しのためにやっているものなののでしょうか。しかし、先生たちが生徒や児童に働きかけても、家庭の教育が無いと学力はついて行かないと思います。私が日々感じているのは、大月市の勉強に対する家庭の向き合い方はすごくぬるく、山梨県などと比較するようなこともなく、これぐらい点数がとれてればいい、高校に行ければいい、楽しく出来ればいい、そのような雰囲気が大月市は強いと感じています。社会人となった時に、世間の厳しさにショックを感じる子ども達の意見を聴く機会がありましてそう思いました。もう少し保護者にも勉強の意味や大切さを分かってもらい、上に向かって頑張る気持ちを家庭で育ててもらわないと、伸びる子どもも伸びないので、もったいないと思っています。学習サロン等で、勉強と向き合えない子ども達を一生懸命引っ張って行ってくれるのはすごくありがたいのですが、もっと伸び代のある子ども達が、学ぶ機会を失ってほしくないと思うので、ぜひ、このような結果が出た時には、具体的な数値でなくても構わないので、保護者にも全国平均と比べた結果や、大月市のイメージを持てるぐらいの情報を公開していただくと、保護者も子どもに勉強しようと思わせたいと思うし、子どもも頑張ろうとすると思います。学校と家庭が同じ方向を見ないと難しいのではないかと感じています。

中村委員

もう少し学力把握調査の結果を学校で利用して、もっと情報を発信していこうということですね。私もいつもそう思っています。

小泉教育長

山梨の学力把握調査の結果が出ました。この結果を生かして、学校と家庭が連携する中で、さらに繋げることを考えていかなければならないという話で、お金や時間を使って出たデータですので、有効に活用出来るように各学校に渡していただきたいと思います。私が学校にいるときは結果をグラフにして、全家庭に配布して、このような学力の傾向があることを示しました。その時には、学校だけでは学力アップは無理ということ、家庭での教育をお願いしますと発信したことがあります。今後もそのようなことが必要になってくると思います。

【了知】

(4) 大月みらい協議会の状況について

〔説明〕 小泉教育長

大月みらい協議会に私と庄司委員が出席されました。ふるさと教育についての話をさせてもらったのですが、その時に出た質問に沿って、ご報告をしたいと思います。一つ目は「大月市の教育基本方針は何ですか。」二つ目は「ふるさと教育は子ども達を大月市に囲い込むことですか」三つ目は「情緒的な面も大切だが、学力はどうなっていますか」四つ目は「ふるさと教育の法的根拠は何ですか、教育基本法とどうつながっていますか」というご質問が出ました。それらについては別紙に目を通していただきたいと思います。

ふるさと教育は、家庭の教育とか、学力に関わっていますので説明しますと、先程の山梨県の学力把握調査は氷山の一角の一番上の小さな三角の部分の「見える学力」で、テストで数値化される部分しか私たちは見ていません。ふるさと教育は、氷山の下の部分、つまり見えない学力を太くしていこうと取り組んでいます。大月家庭塾や、仕事塾や地域とのつながりで見えない学力を太らせていって、結果としてみえる学力を豊かにしていこうと取り組んでいるのが大月のふるさと教育です。

ルイ・アラゴンの言葉に「教えるとは夢を語ること」とありますが、大人たちが夢や希望を持ち、豊かに生きていることが子ども達に伝わって、夢っていいんだと思ってもらえることが一番のふるさと教育だと思っています。ふるさと教育は子ども達に何かを教えるだけではなく、大人たちがどんな生き方を子どもに見せるのかが問われているものだと思います。ふるさと再生のために、ふるさと教育は大人の課題だと考えるのが良いと思います。

教育といっても種類がたくさんありまして、学校で行われる幼稚園から大学までの学校教育、家庭で行われる家庭教育、地域などで行われる地域教育のすべてを含めて生涯学習なのですが、学校教育を起点としての取り組みは出来ていると思います。ふるさと教育に足りないのは、家庭教育と地域教育の2つだと思います。この2つに力を入れたふるさと教育をしていくには学校の実践ではなく、むしろ家庭や地域に目を向けないといけないのですが、そこが本来なければいけな

いと思います。

また、学力の二極化が課題です。別紙のデータは私が勤務していた時の学校の算数のBの点数をグラフ化したものですが、低位の層に1個、そして中位から上位にかけてこぶが2個あります。昔は正規分布曲線で山が1個で中間が高かったのですが、今はこのような分布になっています。これが大月学習塾の根拠です。低層の子の学力を上げていかないと、学力全体は上がりません。先ほど庄司委員から、伸び代がある子ども達を上げたいとの意見がありましたが、この低層をいかに上げていくかということが今行っている大月学習塾や大月サマースクールの根拠です。下のグラフは大月家庭塾の根拠ですが、朝食を毎朝食べている子とまったく食べていない子の学力の点数と子どもの実態をクロスさせた表になります。これも勤務していた学校のデータですが、食べている子どもと食べていない子どもの学力差は、はっきりしているのも、家庭の基本的な生活習慣はとても大切だと思います。みらい協議会に参加したことを基にしてまとめたものですので、お時間があるときに目を通していただければと思います。

【了知】

(5) 第57回大月市体育祭の結果について

〔説明〕 小林社会教育課長

大月市体育祭は、5月28日に開会式が行われました。ご協力ありがとうございました。6月11日に競技が終了しまして、6月14日に表彰式が行われました。総合順位は大月体育会が6年ぶりに26回目の優勝となり、準優勝が猿橋体育会、第3位が富浜体育会で、4位以下は別紙のとおりですので、後程ご覧いただきたいと思います。今年の大会は天気が良く、すべての競技が行われ、昨年より全地区10地区が参加する種目が2種目増えています。

【了知】

(6) 大月市教育委員会教育委員研修会について

〔説明〕 葛木学校づくり担当リーダー

教育委員研修会につきましては、前回の教育委員会でご意見をいただきました。その際に小泉教育長から七保の葛野のくずはの森が候補地にあがりましたが、そのほかにありましたら、お聞かせお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

天野委員

こすもす教室がなくなることになりましたが、まだ見ていないので訪問するのはどうでしょうか。

小泉教育長

時期はいつ頃になりますか。

蔦木リーダー

くずはの森の施設長の佐藤先生に打診させていただき、10月頃とお話しました。10月の定例会の日に、1日になってしまいますが、午前中に研修会、午後から定例会をというような提案をさせていただきたいと思います。10月ですので、また検討させていただきたいと思います。

小泉教育長

候補地が2つ出ましたが、今日絞らなくていいですか。

蔦木リーダー

まだ余裕がありますので、こすもす教室の方を確認させていただきまして、次回決めるということで良いでしょうか。

【了知】

(7) 閉校学校跡地利用について

(非公開)

〔説明〕 小俣学校教育課長

【了知】

(8) 学校給食センター運営等の検討について

〔説明〕 小俣学校教育課長

大月市学校給食センターは平成19年に現在の場所で、建物のリースを受けて、運営できる準備をして、平成20年度から市内すべての学校の児童生徒教職員等の給食を調理し、配食する運営を開始しました。この建物のリース期間は10年間で、今年度末の平成30年3月31日にリース期間が満了することを期に、学校給食センターの民間委託等の庁内検討委員会要綱に基づきまして検討を始めました。2月7日が第1回、5月31日に第2回、そして7月5日に第3回検討委員会を行う予定です。これまでどおり市の直営でいくのか、民間に委託をしていくのか、方向性について検討委員会で検討している状況です。県内の他市の状況を見ますと、調理と配送を委託している、調理のみを委託している、配送のみを委託しているところがあり、民間に全く委託していない市は大月市と北杜市の2市だけでした。ただし、何かしら委託している市でも、全ての市で栄養士は委託せず、県からの配置された栄養士、足りない部分については市単独採用の栄養士がおり、献立、食材の発注、調理指導、アレルギー対応などを行っています。今後、検討委員会の意見を取りまとめまして、教育委員会に諮り、市長の報告、

庁議等にもあげていく中で、民間委託についての方向性を決定したいと考えております。現在学校給食センターの運営について検討していることをご承知おき願いたいと思います。

【了知】

(9) 子供の貧困対策の協定について

〔説明〕 小林社会教育課長

南アルプス市の認定NPO法人フードバンク山梨は生活貧困世帯に食料を届ける活動をしています。このフードバンク山梨と教育委員会と大月市で、貧困対策連絡協定を結ぶ手続きを進めています。昨日、フードバンク山梨の方が来庁され、石井市長と小泉教育長と井上教育次長、校長会から秋山幹事長に同席していただき、フードバンク山梨より説明を受けました。この協定の内容は、学校現場に協力していただいて、小学校及び中学校に通う準要保護を受けている世帯で希望する世帯に夏休みに2回、冬休みに1回食料を届けます。この協定を結ぶと食糧支援を行うことが出来ます。県内では現在、中央市、南アルプス市、笛吹市、山梨市、都留市の5つの市がこの協定を結んでおり、大月市もこの協定を結ぶことで、子どもの貧困対策に努める手続きを進めていきます。

【了知】

(10) 平成29年7月21日(金)午前10時から、第4回大月市教育委員会定例会を開催することを確認。

6 閉会

【教育長閉会宣言】